

調査相談(レファレンス)事例紹介

10



Question

群馬が誇る“群馬交響楽団”。
世界的にも有名な指揮者である小澤征爾氏と関係があると聞きましたが、
どんな関係ですか？



Answer

群馬交響楽団は、昭和 20 年 11 月、アマチュア楽団「高崎市民オーケストラ」として産声をあげました。戦時中に実業家の井上房一郎が団長を務めていた音楽挺身隊の楽員たちが中心だったこともあり、発足当時の楽員は十数人で、メンバーにはアコーディオンやギター奏者もいたそうです。

昭和 30 年頃になると、日比谷公会堂でのコンサートや、群響をモデルとした映画『ここに泉あり』の公開等、幅広く活動するようになりましたが、それでも楽員は二十人前後で、時には指揮者がいないということもあったそうです。そんな中、当時桐朋学園・桐朋女子高等学校に男女共学の音楽科を設立したばかりの齊藤秀雄氏に紹介された若手指揮者の一人が、当時まだ桐朋学園の学生であった小澤征爾氏だったのです。

小澤氏のインタビューによると、当時紹介された若手指揮者の中で自分が一番暇だったので、地方都市への遠征等にも同行していたとのこと。また、移動音楽教室についても触れており、「『移動音楽教室』といって…体育館とか教室とか、まともな場所はなかった…けど、私にとっては大事件だったですよ。何せ指揮してお金をもらった第一号ですから。」等と語っています。

ちなみに、小澤氏とともに紹介された若手指揮者の中には、後に音楽番組『オーケストラがやってきた』等でも活躍した音楽家・山本直純氏もいました。山本直純氏の父は作曲家・指揮者の山本直忠氏で、直忠氏は群響初代の指揮者でもあったんですよ。



参考文献

書名	責任表示	出版社	出版年	資料コード
① プロジェX挑戦者たち 21	NHK プロジェX 制作班／編	新潮社	2004	10948784
② 泉は涸れず	林健太郎／共編 辻村明／共編	毎日新聞社	1998	06682223
③ 群馬交響楽団50年史	群響50年史編纂委員会／編	群馬交響楽団	1997	06192314
④ 愛のシンフォニー	丸山勝広／著	講談社	1983	01819614

今回ご紹介した他にも調査相談（レファレンス）事例をホームページに多数ご紹介しています。

【群馬県立図書館ホームページ＞調査相談＞調査相談事例・郷土人物データベース】

お問い合わせ：群馬県立図書館 〒371-0017 前橋市日吉町1丁目9-1 電話：027-231-3008